

平成 31 年度政務活動実施成果報告書

会派・議員名：立憲民主党 玉造順一

○エネルギー政策に関する調査

1. 目的

県民の多数が望む脱原発の実現をめざし、調査・研究を行う。

2. 活動時期

平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月

3. 活動内容

国内外のエネルギー政策の動向を踏まえ、脱原発の具体的道筋を考えるとともに、本県に立地する東海第二原発について、「東海第 2 原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟」や「とめよう！東海第二原発首都圏連絡会」などが主催する学習会に参加し、現状把握とオールタナティブについて調査を行った。

また、いばらき原発県民投票の会主催のタウンミーティングに参加し、地方自治法に基づく条例制定の直接請求の仕組みや他自治体での事例、そして同会が求める東海第二原発の在りようを問う意義や活動について調査を行った。

4. 成果等

学習会での理解を基に、本会議での一般質問、予算特別委員会での質問を行い、原発のない茨城県づくりに向けた議会活動に活かした。

<3 定一般質問>

- ・東海第二発電所の再稼働に対する認識
- ・再生可能エネルギーの現状と今後の方針

<予算特別委員会質問>

- ・東電福島第一原発汚染水の海洋放出に対する考え方
- ・東海第二原発再稼働に対する住民投票直接請求に対する考え方

○多様性ある県づくりに関する調査

1. 目的

個人が尊重され誰もが自分らしく生活できる県政の実現をめざし、調査・研究を行う。

2. 活動時期

平成31年4月から令和2年3月

3. 活動内容

静岡県富士市・沼津市の性的マイノリティ施策に関する調査を行った。

- ・2/18（火）富士市男女共同参画課からLGBT施策についてレクチャーを受けるとともに、沼津市のNPO法人さぼぬまを訪問し、LGBT支援活動の説明を受けた。
- ・2/19（水）沼津市地域自治課からLGBT施策についてレクチャーを受けた後、同市内のNPO法人めりめろを訪問し、LGBT支援活動について説明を受けた。



4. 成果等

視察調査での理解を基に、予算特別委員会での質問を行い、本県におけるダイバーシティ社会実現に向けた議会活動に活かした。

<予算特別委員会質問>

- ・性的マイノリティ施策に対する考え方
- ・多様性を尊重する県づくりに向けた取り組み
- ・性的マイノリティに配慮した県職員の待遇改善

○広聴活動（タウンミーティング）の実施

1. 目的

広く県民から県政に関する諸課題についての要望をお聞きし、それらを集約することにより、議会質問等を通じて県民本位の政策実現を図る。

2. 活動時期

平成31年4月から令和2年3月

3. 活動内容

県議会で審議した議案の経過及び内容を県民に説明するとともに、県政の諸課題について意見や要望をお聞きした。

4. 成果等

参加者との意見交換を基に、本会議での一般質問や常任委員会、予算特別委員会での質問を行い、県政の課題解決に向けた議会活動に活かした。

なお、意見交換のテーマと要望の主な項目は以下の通りである。

(1) 医療・福祉分野

- ・救急医療・災害医療体制の整備
- ・医師・薬局不在地域の巡回医療と公共交通機関整備
- ・国民健康保険の財政支援強化で「払える国保」実現
- ・医療と介護の連携で高齢・難病・障がいの方の暮らしの場を保障
- ・社会復帰のための活動を支援

(2) 地域活性化・雇用分野

- ・里山資源や天然ガスパイプラインを活用した企業立地支援
- ・介護、保育、自然エネルギー分野での産業・雇用創出
- ・地場産品の地産地消や国内外への販路拡大支援
- ・労働相談や個別紛争解決のための体制強化
- ・商店街や直販所と連携した買い物過疎の解消

(3) 子ども・子育て分野

- ・新規増設や認可・無認可を問わない保育所政策で待機児童解消
- ・義務教育における少人数学級の実現、小中高の教育費無償化
- ・適応教室や専門教員の増員で学校に通えない子どもたちを支援
- ・特別支援教育の機能的充実と拡充
- ・不妊治療支援の充実、特別養子縁組の普及

(4) いのち・環境・脱原発分野

- ・男女平等参画や LGBT 施策の確立
- ・「動物殺処分ゼロ」を目標とした動物愛護施策の実施
- ・霞ヶ浦導水事業の中止、森林湖沼環境税を活用した千波湖浄化
- ・地震・土砂災害対策の「生命を守る公共事業」の推進
- ・東海第2原発の再稼働反対、県民防災読本の全戸配布